



くじ 市議会だより

第12号

2008年
(平成20年)
11月1日発行



— 太陽でじっくり稲穂を乾燥させる地球にやさしい「はせ掛」 山形町霜畑 —

主な内容

- 市議会を読む 9月定例会 …………… 2～3
- 委員会の審査から …………… 4～5
- 一般質問 …………… 6～11
- 他市に学ぶ …………… 12～13
- 意見書／傍聴席からひとこと …………… 14

発行／久慈市議会 編集／久慈市議会広報編集特別委員会 電話（直通）0194-52-2188

〈ホームページ〉 <http://www2.city.kuji.iwate.jp/gikai/>

市議会を読む

◎第10回9月定例市議会

平成19年度各会計決算を認定

市政改革プログラムに基づく使用料・手数料の見直しに関する条例14議案を可決

第10回定例市議会は8月29日から9月12日までの15日間開かれ、

9月定例会では、平成19年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに水道事業会計決算、平成20年度一般会計及び特別会計補正予算並びに水道事業会計補正予算、手数料条例の一部を改正する条例など市長提出議案39件、議員発議案8件について審議しました。

また、各会派を代表して4人、個人で2人の議員が市政の諸問題について一般質問を行いました。

補正予算

●平成20年度一般会計補正予算(第2号)

一般会計補正予算は、1億7770万2千円を追加し、

補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ193億8430万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

今回計上された補正予算の主な事業と予算額は次のとおりです。

・財政調整基金積立金

前年度繰越金の法定積立分
1億8956万円

・市県民税等賦課経費

税制改正に伴うシステム改修費
620万円

・市税還付金

所得税の税源移譲に伴う市の還付金
3442万5千円

・後期高齢者医療制度電算処理システム経費

後期高齢者医療制度の改正に伴うシステム改修費
516万6千円

・部分林分収交付金

535万6千円

・霜畑中学校閉校記念事業実行委員会補助金
87万円

・表生小中学校閉校事業実行委員会補助金

60万円

・外里遺跡発掘調査事業費

県委託事業外里遺跡発掘調査の事業費
331万8千円

・体育施設維持管理費

山形B&G海洋センター修繕費
305万円

・若手県高等学校総合体育大会等運営費補助金

11月に行われる高総体サッカー新人大会補助金
10万円

・現年発生単独災害復旧事業費

6月の大雨災害に伴う市道



来年4月に統合となる霜畑中学校



工事に着手した長中隣接地の新学校給食センター

2路線の調査測量設計委託料
50万4千円

●平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、水道事業会計補正予算(第1号)も原案のとおり可決されました。

条例等

9月定例会では、23件の条例等が審議、可決されましたので、議案の概要について紹介します。

●市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部が改正されたことに伴い、平成21年10月から個人市民税の納税義務者のうち、65歳以上の公的年金の受給者を対象に、公的年

金等から個人市民税を特別徴収することについて定めるとともに、納税証明書交付手数料及び督促手数料の見直しを行うおとするもの。

●久慈市学校給食センター建設工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて

長内町に整備される学校給食センター建設関係工事の契約額は、主体工程4億4625万円（株小山組）、電気設備工事1億540万円（藤

原電業株）、機械設備工事2億7825万円（株力ネヨシ水道工業所）で請負契約を締結することに関しそれぞれ議決を求めるもの。

給食センターは鉄骨造り二階建て、延べ床面積2771㎡、工期は平成21年6月30日まで。

その他の議案等は、「議案等審査結果」及び次ページの「委員会の審査から」に掲載しました。

人事

●人権擁護委員候補者に香木正氏（京の森）と上川原勇氏（夏井町）を推薦することに同意しました。

議員発議案

9月定例会では、議員発議案の会議規則、条例1件、意見書6件が可決されました。市民から受けた請願5件を採択し、それらの意見書6件

は県知事、内閣総理大臣ほか提出しました。

●久慈市議会会議規則の一部を改正する規則

●政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

規則及び条例は地方自治法の一部改正に伴い、引用条項の整理をしようとするもの。

●新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について
その他の意見書は、最終ページに掲載しました。

議案等審議結果

第10回定例会市議会

【決算】

- 平成19年度久慈市一般会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市土地取得事業特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市老人保健特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市魚市場事業特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成19年度久慈市水道事業会計決算

認	定=賛成多数
認	定=全会一致
認	定=賛成多数
認	定=全会一致
認	定=全会一致
認	定=全会一致
認	定=全会一致
認	定=全会一致
認	定=全会一致
認	定=全会一致

【予算】

- 平成20年度久慈市一般会計補正予算（第2号）
- 平成20年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度久慈市水道事業会計補正予算（第1号）

原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致

【条例等】

- 市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 久慈市議会の議員報酬等に関する条例
- 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- 手数料条例の一部を改正する条例
- 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- 市税条例の一部を改正する条例
- 地域農村センター条例の一部を改正する条例
- 交流促進センター条例の一部を改正する条例
- 海水プール条例の一部を改正する条例
- 勤労者家庭支援施設条例の一部を改正する条例
- 市営住宅等条例及び定住促進住宅条例の一部を改正する条例
- 山形総合センター条例の一部を改正する条例
- 平庭高原施設条例の一部を改正する条例
- 内間木野外体験施設条例の一部を改正する条例
- 久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例
- 公民館条例の一部を改正する条例
- 文化会館条例の一部を改正する条例
- 体育施設条例の一部を改正する条例
- 三船十段記念館条例の一部を改正する条例
- 久慈市学校給食センター建設主体工程の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
- 久慈市学校給食センター建設電気設備工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
- 久慈市学校給食センター建設機械設備工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
- 財産の取得に関し議決を求めることについて

承	認
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=賛成多数	
原案可決=賛成多数	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	
原案可決=全会一致	

【人事】

- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて（2件）

同	意
---	---

【議員発議案】

- 久慈市議会会議規則の一部を改正する規則
- 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について
- 県北沿岸振興のため「久慈地方振興局」の更なる体制強化に関する意見書の提出について
- 義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合二分の一復元を求める意見書の提出について
- 教育予算の拡充、教職員定数の改善を求める意見書の提出について
- 原油高騰への緊急対策を求める意見書の提出について
- ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書の提出について

原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致
原案可決=全会一致

委員会の審査から

総務、教育民生、産業経済、建設の各常任委員会は9月5日、決算特別委員会は9月9日・10日の2日間開かれ審査しました。

総務

委員会に付託された議案6件、請願1件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●手数料条例の一部を改正する条例

住民票、印鑑等の証明書の交付手数料13件について、200円から300円に改正しようとするもの。

【問】印鑑証明及び住民票等の発行は、民間に委託できるかもしれないが、市民生活を営むうえで、欠かせない性格のものであり、基本方針の使用料の分類に例えると公園、図書館等と同様の性格と思われるので、受益者負担割合100%は理解できないがどうか。

【答】生活には欠かせないものであるが、特定の人に地方公共団体が提供する役務については、その役務の受益が特

定の人に限られてくるので、概ね全部を負担するという考えである。

そのほか、使用料や手数料の免除の適用等について質疑が交わされ、採決の結果、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

教育民生

委員会に付託された議案8件、請願3件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例

麦生小学校、麦生中学校及び霜畑中学校を、平成21年3月末をもって廃止し、同年4月1日から、麦生小学校は平山小学校及び侍浜小学校に、麦生中学校は夏井中学校及び侍浜中学校に、霜畑中学校は山形中学校に、それぞれ統合しようとするもの。

【問】霜畑中学校統合に関する住民の同意の状況と通学に対する支援はどのように考えているのか。

【答】統合の可否については、霜畑小・中学校のPTA合同会議で会員32名中、賛成が29人、反対が3人であった。通学の交通手段は、スクー

ルバスでの対応を考えており、朝の時間は小中学校同じバスで、帰りは実態にあった運行をし、クラブ活動への対応は、クラブ活動終了時点とする。

そのほか、国庫補助金の返還、校舎等の活用方法、麦生小中学校の起債の残高、財産の管理方法などの質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業経済

委員会に付託された議案4

件、請願1件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●交流促進センター条例の一部を改正する条例

べっぴんの湯の浴場利用料金について、市政改革プログラムに基づく、使用料・手数料の見直しに伴い、見直しに関する基本方針に沿って原価計算による算定をすることも

に、近傍の類似施設の状況等を勘案し、大人の場合入浴料の上限額400円を480円に改正しようとするもの。

採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

建設

委員会に付託された議案4

件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介いたします。

●市営住宅等条例及び定住促進住宅条例の一部を改正する条例

警察との連携により市営住宅等の入居者から暴力団員を排除するとともに周辺住民の生活の安全と平穏を守るため、必要な改正をしようとするもの。

【問】暴力団員の定義と条例施行後における警察との連携は。

【答】暴力団員とは「暴力団による不当な行為の防止等に関する法律」に定義する「暴力団」の構成員である。

条例施行後は久慈警察署と協定を結び、情報提供など連携を密にし、対応していきたい。

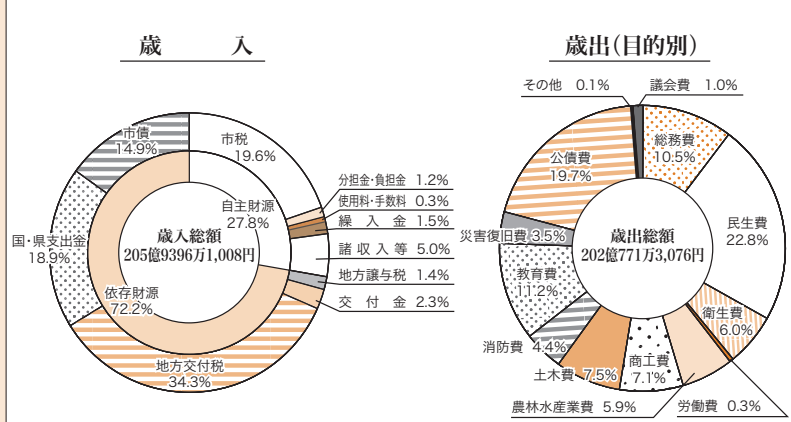
その他、本条例改正による規制強化見直しなどについて質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

会計別決算状況

区分	予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計	208億4,206万円	205億9,396万円	202億771万円	3億8,625万円	
特別会計	土地取得事業	2,627万円	2,483万円	2,483万円	0
	国保事業勘定	44億7,709万円	44億7,162万円	42億5,941万円	2億1,221万円
	国保直診勘定	2億5,199万円	2億4,330万円	2億4,330万円	0
	老人保健	28億5,575万円	27億1,130万円	27億5,100万円	△3,970万円
	介護サービス事業	8,638万円	9,590万円	8,188万円	1,402万円
	魚市場事業	2,623万円	2,553万円	2,553万円	0
	漁業集落排水事業	2億9,696万円	2億9,460万円	2億9,460万円	0
	工業団地造成事業	4,242万円	2,387万円	4,240万円	△1,853万円
	公共下水道事業	14億2,708万円	13億7,445万円	13億7,190万円	255万円
	計	94億9,016万円	92億6,539万円	90億9,485万円	1億7,054万円
合計	303億3,222万円	298億5,935万円	293億256万円	5億5,679万円	
水道会計	収益的	—	7億2,683万円	7億1,558万円	1,125万円
	資本的	—	2億2,352万円	5億1,906万円	2億9,554万円

(注1) 1万円未満四捨五入。(注2) 端数処理のため合計が不一致となる場合があります。

一般会計歳入歳出別決算状況



決算特別

委員会に付託された平成19年度一般会計決算、各特別会計決算及び水道事業会計決算の10件について審査しました。

概要と主な質疑は次のとおりです。

●平成19年度決算の概要

一般会計と各特別会計(8会計)の合計は、歳入総額

298億5,935万円、歳出総額293億2,560万円、歳入歳出差引額は5億5,679万円、単年度収支では2億5,600万5,595円、実質単年度収支では1億6,468万8,979円であり、それぞれ赤字となっております。

●平成19年度一般会計決算

【問】18年度比較で市民税が3億1,000万円の増収にしているがその内容は、

【答】増額の理由は、税源移譲による影響額が約2億1,000万円、定率減税の廃止によるものが、5,000万円強となっております。

【問】二戸中継局から受信するテレビ共聴施設における平成19年度のデジタル放送波の受信状況調査の結果は、

【答】山形町9施設、山根町2施設の11施設を調査したところ、今の施設のアンテナで受信できる施設は9箇所、

受信が不安定または困難な施設が2箇所であり、今年度において久慈及び野田中継局からの受信調査をしたい。

【問】県ではナマコ産地づくり推進事業を平成19年度から22年度まで実施することとしており、昨年度は天然資源の分布状況や漁獲実態調査を実施した。今年度は種苗放流をすることとなっているが市における放流時期と放流場所はどこか。

【答】ナマコの調査地区は、市では、久慈浜と半崎地区、県では、久喜と小袖地区、漁協では、大尻と二子地区の計6地区となっており、本年度の放流は5月に二子地区で行った。

【問】住宅リフォーム奨励事業の利用件数とリフォームの内容は。

【答】この事業は、市民が自分の居住する住宅を市内の事業者でリフォームをする場合に対して、対象工事費の5%相当を商品券で交付するというもので、平成19年度は、申請件数が49件、商品券の交付額が3,959,000円となっている。リフォームの

内容は、トイレや浴槽などの水回り関連が7割弱、そのほか内装や屋根などのリフォームとなっている。

【問】平成19年度の予算では、市民協働道路維持補修事業費300万円が計上されていたが、その実施状況は。

【答】19年度は山根町木売内地区、小久慈町下柏木地区、長内町新築町地区、山形町霜畑地区、夏井町大湊地区、宇部町谷地中地区、待浜町横沼地区の計7団体が実施し、原材料費や機械の借上料の経費で側溝や暗渠等の整備を行った。

【問】久慈小学校の耐力度調査の結果は。

【答】久慈小学校の耐力度調査結果は、3094点から5284点であり、全7棟中6棟が国庫補助の採択基準5000点以下に合致し、改築にかかわる補助の影響は現時点ではないものと考えられている。

【問】外里遺跡の発掘調査が終わる時期にきているが、埋蔵文化財を子ども達に見学させる考えは。

【答】発掘調査の現場説明会を予定しており、学校を通じて紹介していきたい。

● 一般質問

新 政 会 上 山 昭 彦 議 員

【問】長内中学校前を通る市道上長内日吉町線の歩道設置を順調に進めるためには、地権者等との合意形成が不可欠であり、十分な説明が必要と思うが、住民との合意形成をどのように図っていくのか。

【答】7月17日、学校関係者や地元代表者など道路利用者

市道改良 どう進めるのか

【問】市道の川井関線の改良見通しを示せ。

【答】計画延長2000mに対し、昨年度末の完成延長は約1160m、その進捗率は58%となっている。未整備

【答】整備の必要性は認識しているが、整備には用地確保のほか多額の工費を要することから整備手法など今後の検討課題と考えている。

【問】シルバー人材センターの登録者数と利用状況を示せ。

【答】平成20年7月末における会員数は、男性192人、

長中前の歩道設置、住民説明十分か

● 市長―地元説明会で住民との合意形成を

による検討会を開催し、その意見等を踏まえて、歩道の設計と現地調査を進めているところである。今後歩道の設計がまとまり次第、地元説明会を開催し利用者のご理解をいただくとともに、土地所有者の方々にご協力をお願いしながら住民との合意形成を図っていきたいと考えている。

区間については、昨年10月に全地権者を対象に用地提供意向調査を実施し、その結果を踏まえ説明会を開催するなど整備促進に取り組んできたところであり、引き続き理解が得られるよう対応していきたい。

【問】小屋畑川右岸上流部の市道上長内線の袋小路解消に向けた考えは。

女性154人、合計346人。また、平成19年度の事業実績における利用状況は、受注金額で約9847万円、就業延べ人員で2万6551人と社団法人久慈市シルバー人材センターから聞いている。

【問】市道上長内線南端部地区への消化栓設置の考えについて示せ。

【答】市道上長内線の南端部



消火栓の設置が望まれる上長内地区

地区には、30数戸の住宅があり、口径75mmの配水管が布設されているが、消火栓は設置されていない。

消火栓を設置するためには、一般家庭の水量や水圧の確保が必要となることから、給水の影響について水道事業所と協議していきたい。

【その他の質問項目】

国との人事交流／普通交付税の見直し／個人情報流出対策／燃油高騰／市民バス／岩手北部地震への対応／マイマイガ対策／自殺予防／林業対策／やませ土風館／スクールバス ほか

各会派の 関連質問

新 政 会

◆ 泉川 博明 議員

【問】燃油高騰による農林水産業への影響から、農林漁業者の生活を守るためにも、何らかの対策を速やかに実施すべきでは。

【答】燃油高騰により影響を受けている農林水産業に対して、国が行っている支援策や

一般質問は、9月3日・4日の2日間行われ、各会派を代表して、上山昭彦、藤島文男、小野寺勝也、八重櫻友夫議員が代表質問を、また、梶谷武由、小倉建一議員が個人質問を行いました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

【問】振興局の再編方針に対する市の対応と要望等の状況は。

【答】市では、県が示した再編方針の素案に関し、ホームページや文書により、市民や関係団体等に対し広く周知するとともに、地域説明会や、パブリックコメントへの参加を呼びかけたところである。

また、県北沿岸振興と連動する要望等については、複数回にわたり県と意見交換を行い、県が県北沿岸振興を重点課題として取り組むのであれば、県北と沿岸両地域の特殊性をあわせ持つ当地域を拠点とすべきことなど、当地域への設置をその都度、強く主



存続が望まれる久慈地方振興局

張してきたところである。

【問】岩手北部地震に対する初動体制、情報伝達、情報収集及び市民の相談対応は十分であったか。また、今回の教訓をどのように活かすのか。

【答】地震発生と同時に、市災害対策本部を設置すると

振興局再編方針への対応、要望は

●市長——当地域への設置を強く主張している

必要と思うが考えを示せ。

もに、全ての課長、各施設の長、庶務担当総括主査が参集する警戒配備体制をとった。本年6月15日から運用している「全国瞬時警報システム」により、地震直後4回の震度情報及び注意喚起放送を行った。各地区での消防団による情報収集、庁内各部のパトロール、電話照会等での積極的な情報収集に努め、市民からの相談に対しても相談内容に

応じて適切な対応を心掛けたところである。今回の災害対応について、課題や反省点などの総点検を行い、適切な災害対応ができるよう、次の災害に備えていきたい。

【問】山形町清水川湧水の高濁化に対する抜本的な対策が

必要と思うが考えを示せ。

める大変よい試みであると認識していることから、各学校に対しては、優良な事例についての情報共有に配慮していきたい。

引き続き各学校においてそれぞれの環境教育計画に基づき、環境問題に対する正しい理解を深める教育と環境保護について考えることのできる児童生徒の育成に努めていきたい。

温暖化防止教育の取り組みは

【問】学校現場における温暖

化防止教育の実施と今後の進め方は。

【答】環境教育については各学校で、校長はじめ教職員そろって研究し取り組んでいる。大川目小学校における取り組みは、地球温暖化防止に対する児童の興味、関心を高

総合対策を農林水産業の関係者が有効に利用できるよう、県や関係団体等と連携を図りながら各種制度の周知に努めるとともに、今後の国の動向を注視して対応していきたい。

◆木ノ下 祐治議員

【問】国道45号から市道北野6号線に進入する交差点は、日中でも分かりにくいことから、通行の安全性を確保するために道路案内標識の設置が必要では。

【答】北野6号線の当該交差点については、国道沿いに大きな木が立ち並び、見通しが悪いことから、どのような標識が適当か検討したうえで、今後関係機関と協議していきたい。

◆澤里 富雄議員

【問】宇部中学校と三崎中学校が第2期の再編計画に盛り込まれているが、住民説明会を終えてこの両校の再編をどのように考えているのか。

【答】宇部中学校と三崎中学校の再編の具体的な計画は、平成23年2月までに作成したいと考えている。

懇談会では、比較的強い反

一般質問

政 和 会 藤 島 文 男 議員

一般質問

日本共産党久慈市議団 小野寺 勝也 議員

対意見だけであったとらえており、厳しい状況にあると思っている。

教育委員会としては、子どもの学習環境の整備を第一に考え、地域の声を良く聞いたうえで、無理な統合とならないよう今後、理解が得られる努力をしていきたい。

◆中平 浩志 議員
【問】長内川堤防未整備区間の解消に向けた市の取り組み状況と新街橋上流右岸の堤防整備の進捗状況は。

【答】市では、県が管理する各河川の未整備区間は、重点事項として毎年、整備を要望している。

新街橋上流右岸の未整備区間は、9月から工事に着手する予定であると久慈地方振興局土木部から聞いている。

また、幸橋下流、旧長内中学校前の未整備区間についても、県に引き続き要望していきたい。

◆中塚 佳男 議員

【問】県が管理している市内の国道281号と395号には、多くの危険箇所があるが、その危険箇所を市で調査し、県に国道の整備を強く要望す

の特別徴収は徴収の効率化、納税者の便宜を図ることにある。地方税法の改正で義務化されたものであり、徴収方法を変更するもので納税者の権利を否定するものとは考えていない。

市道の整備促進を

【問】市道上柏木小森沢線、幸町2号線は整備要望も出されており、整備計画を示してほしい。

また、小久慈地区プール前の道路は周辺の整備計画と合わせて市道認定すべきと思うかどうか。

【答】市道上柏木小森沢線は住宅が立ち並び、幸町2号線は一般住宅、県の宿舍もあり、利用率が高く、公共性も認められるので財政状況をみながら検討したい。プール前の道路の市道認定については、関係部局と協議のうえ、公共性、地元の要望等考えながら検討したい。

なる予定。今後、国に介護施設が少なく受け入れ態勢が整っていないということを訴えていきたい。

【問】灯油価格は前の冬よりも50%以上もの異常な高さとなり、物価高、雇用不安、負担増の三重苦が市民生活と経営を深刻なものにしている。

【問】来年10月以降に支給さ

療養病床の削減に反対を

●市長 ― 国に現状を訴えていく

としている。

現在でさえ、特養ホームへの待機者が二百数十名もあり、療養難民が急増する深刻な事態となるので、療養病床の削減計画の中止を求めるときと思うがどうか。

【答】平成23年度末までに120床の医療型が96床に、27床の介護型がゼロになり、老人保健施設への転換が51床に



高騰が続く灯油

れる公的年金から住民税が天引きとなるが、すでに所得税、介護保険料、そして後期高齢者医療保険料が天引きされている。

住民税の公的年金からの天引きは、納税の猶予、時効の適用など納税者の権利が否定されることになると思うがどうか。

【答】公的年金からの住民税

【問】 県営滝ダム上流での屋形船周遊が突如延期になった理由と今後の運航予定は。

【答】 運航を予定していたNPO法人やませデザイン会議から、運航継続に必要な課題解決のめどがたたないため延期になったと聞いている。屋形船の運航は市の貴重な観光資源であり、各関係機関と連携を取りながら就航に向けた方策を検討していきたい。



就航が突如延期になった屋形船

【問】 市道日吉町宇部線の整備計画を示せ。

【答】 本路線の延伸は、国道45号の芦ヶ沢地区から日吉町

を経て大川目町の国道281号を結ぶ路線であり、その必要性は認識している。新設道路となり、橋りよう整備も必要となることから延伸には多額の工事費が見込まれるため今後の検討課題と考える。

を實施し、平成23年4月に給水開始する予定である。

【問】 大川目町滝地区の滝橋改修計画は。

【答】 滝橋は、老朽化が進み幅員が3・6mと狭いことから改修の必要性は認識してい

査、詳細設計及び計画交通量調査等を実施してきた。本路線の整備には多額の工

事を要することから、今後

も補助事業採択を目指し、費用対効果を精査するとともに、県道昇格及び県代行事業

滝ダム屋形船の運航予定は

● 市長 — 就航に向け方策を検討したい

荷軽部簡易水道

23年度給水開始

【問】 山形町荷軽部地区の簡易水道整備見通しは。

【答】 本年度は、測量設計業務と配水管敷設工事を一部実施する予定である。

また、平成21、22年度は、配水管敷設工事を継続しながら浄水場等の施設建設工事及び各施設の電気計装設備工事

る。今後は、市道の老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することになっており、滝橋についても今年度、点検を行い

来年度、修繕計画を策定し、財政事情を勘案しながら予防

的な修繕による延命化などを検討していきたい。

【問】 市道久慈夏井線を夏井町側から整備する考えは。

【答】 これまで概略、予備設計をはじめ路線測量、土質調

査、詳細設計及び計画交通量調査等を実施してきた。本路線の整備には多額の工事を要することから、今後

も補助事業採択を目指し、費用対効果を精査するとともに、県道昇格及び県代行事業

採択の実現に向け努力していきたい。

【その他の質問項目】

市政改革プログラム／過疎地域自立促進特別措置法／町内会連合会設立の考え方／元気なコミュニケーション倍増計画モデル調査事業／山形分署の新築計画／保育所の民間委譲への

進捗状況／学童保育所の整備見直し／燃油価格高騰が農林漁業に与える影響／観光施設

の案内看板修正 ほか

べきと思うがどうか。

【答】 道路整備については、市民や各方面から多くの要望がある。毎年、要望のあったものは現場の確認等を行い、年度当初に県に対し強く要望している。

今後も同様の対応をしていきたい。

政和会

◆ 砂川 利男 議員

【問】 久慈湾の水質が年々悪化していることについて、市はどのような対応をしてくるのか。

【答】 市では、環境基本計画に基づき、水質汚濁の主な原因である生活系排水と事業系排水について、下水道等の整備促進や水質保全に関する意識啓発をするとともに、排水や河川等の水質測定及び環境保全協定の締結により、その保全に努めている。

今後も関係機関と連携し水質保全に努めていく。

◆ 佐々木 栄幸 議員

【問】 道路交通法では、自転車は原則歩道を通行できないこととなっているが、市道上長内日吉町線の歩道整備にあ

一般質問

清風会 八重櫻 友夫 議員

一般質問

社会民主党 梶谷武由 議員

【問】国では、地震防災対策特別措置法を改正し、耐震工事の補助率を引き上げ自治体に取り組みを促している。計画を前倒しして工事を進めるべきと思うが考えを寄せ。

【答】平成19年度末で診断率65・3%、耐震化率71・1%。本年度の耐震診断は中学校1校3棟、耐震化工事は小中学

校3校4棟を行う。耐震診断の早期完了と早期耐震化に向け関係部局と協議していく。

太陽熱温水器の普及を

【問】地球温暖化防止のためには、基本的には二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減少させなければならぬ。家庭で化石燃料の使用を

【問】新山根温泉が飲用許可を得ていない温泉水を使用し、4月末からの連休に提供した食事が利用者に不安と不信を与えた原因と対策は。また、再発させないためには理事会や職員の声を聞きながら運営すべきでは。

【答】利用者のさまざまな考えに思いをいたすべきところに若干配慮を欠いたと考えている。職員や振興協会との意見交換はおこなっているが、課題がないか内容を検証しなければならぬと思っている。

【問】マイマイガの大量発生防止対策は。

【答】卵の駆除は施設の所有者、管理者から行ってもらうほか、町内会、衛生班、事業所にも要請しており、薬剤の提供も行う。電力柱については東北電力で駆除する。

【その他の質問項目】
振興局の存続／原油高騰対策／ラジオの難聴解消策／地震被害／災害予防／悪臭対策／郷土文化館

たつては、自転車の歩道通行ができるようにすべきでは。また、歩道を通学する子どもを保護するためガードレールなどを設置する考えは。

【答】自転車の歩道通行可という道路交通法上の標識があり、歩行者と自転車とが歩道を共用できるような方法で警察との協議をしたい。歩行者の保護対策としては、車道と拡幅整備した歩道との間に歩車道境界ブロックと視線誘導標を設置して歩道と車道の区別をしたいと考えている。

◆桑田 鉄男 議員

【問】平成23年7月には地上デジタル放送に移行されることから、不感地域の状況など地上デジタルに関する情報について、市民にきめ細やかな周知をすべきでは。

【答】市民及び職員からの情報、ワンセグを用いた調査結果など、市で持っている情報について提供していきたい。

また、年度内に地上デジタル放送対策調査を予定しているため、その結果についても情報提供していきたい。

◆下館 祥二 議員

【問】地球温暖化対策として、

太陽光発電の設置に対する市の補助制度はあるのか。なければこれから支援する考えは。

【答】太陽光発電の設置に関する支援については、平成15年度から17年度まで国の支援制度に連動して補助を実施していた。今後も国の動向を踏まえて対応を考えていきたい。

◆大沢 俊光 議員

【問】宇部地区に4月から出没している熊について、捕獲するなど抜本的な対策が必要と思うが、市の考えは。

【答】現在、熊の捕獲を市が独自の判断で許可できる場合は、人身被害が実際に起こる。また、その危険性が高いといった緊急の場合のみに限定されている。それ以外の場合は、地方振興局に申請し許可を得なければならぬ。

地域住民の安心安全が優先されることから、同じ個体の熊が何度も出没するようなケースについては、躊躇することなく対応していきたい。

学校の耐震化工事を急げ

●教育長——耐震化は緊急性を判断して行う



耐震化工事が終わった長内小学校

直接減らすことのできる取り組みの一つに太陽熱温水器の設置がある。太陽熱温水器の普及を促進すべきでは。

【答】現時点では、補助制度を創設して普及推進する考えはないが、CO2削減における重要な視点であると認識している。国等の施策動向を注視しながら研究していきたい。

【問】約61億円を投じた下長内旭町線が間もなく完成する。今こそ、重要課題である駅前と川崎町を結ぶ道路整備に取り組みべきでは。

【答】これまで整備手法について種々検討してきた。平面交差では安全の確保、立体交差では多額の費用を要する問題、加えて駅周辺への影響が



歩道未整備で危険な自動車学校付近

駅前と川崎町を結ぶ道路整備を

●市長——整備手法など研究

大きいことなどから極めて困難であるが、今後も引き続き整備手法など研究していきたい。

【問】交通危険箇所、国道281号自動車学校付近の歩道未整備区間の整備促進を。

【答】未整備区間は、筆界未定や共有地の相続問題など用地協力が得られず整備は困難になっているが、早期整備に

向け県に要望していきたい。

【問】市指定文化財、久慈城址保存整備への取組状況は。

【答】これまで地権者の協力を得ながら、説明板や標柱設置などに努めてきた。史跡用地は民有地であり、今後とも地権者の理解を得ながら環境整備に努めていきたい。

【問】市民農園をさらに拡大し、多くの市民に利用させる

べきと思うが考えをせよ。

【答】農業に対する理解を深める一助となるよう農地所有者の協力により、天神堂に1区画45㎡、計15区画を設置し、すべて利用されている。現在も15区画程度の利用希望となっており、当面現状維持を考えている。なお、貸し付けは1年更新とし、市広報で公募している。

【問】市民生活は大変厳しい。旧久慈市長選挙時の考え同様、固定資産税率を引き下げの考えはないか。

【答】固定資産税は、当市の自主財源としての基幹税目であり、市政発展に欠かせないものである。現時点で税率を変更する状況にない。

【その他の質問項目】
国際交流推進／公用自転車活用／市町村合併／交通対策／協働のまちづくり推進／防災対策／マイマイガ対策／農業振興／水産振興／中心市街地活性化／学校廃校舎活用 ほか

日本共産党久慈市議団

◆城内 仲悦議員

【問】久慈東高校の第2グラウンドの設置については、統合の準備段階から要望があったが、いまだに構想も見えない。県に強く要請すべきと思うが考えをせよ。

【答】久慈東高校のグラウンドが狭いということは認識しており、第2グラウンドの整備等について県に要望していきたい。

清風会

◆畑中 勇吉議員

【問】岩手北部地震における土砂災害危険箇所緊急点検の選定基準と点検結果Bランクの13か所について、地区別の箇所数を示せ。

【答】緊急点検に関する場所の選定基準は、宅地造成のために切土された人工の斜面で、斜度が30度以上、高さが5m以上の斜面で崩壊の恐れがあり、人的被害が想定される場所となっている。Bランクの地区別箇所数は、久慈地区、長内地区、小久慈地区、侍浜地区が各1か所、大川目

地区、宇部地区、夏井地区が各2か所、山根地区が3か所である。

◆堀崎 松男議員

【問】学校再編により通学距離が長くなることから、児童保育所の必要性が高まると思うが整備見通しは。

【答】児童保育所の整備には、一定の条件があり、人数の条件等をクリアしながら、父母の方々が児童保育所を立ち上げて、国・県等の補助を導入し運営していくこととなる。

今後の状況等を見極めながら地域の方々と協議していきたい。

◆高屋敷 英則 議員

【問】過疎地域では、人材が一番必要なことから、国が新たな過疎対策として示した集落支援制度に早急に取り組み、指導員を雇用して地域の振興を図ってはどうか。

【答】過疎対策の支援制度は、人口流出や高齢化などにより衰退が懸念された小規模集落を維持活性化するために、総務省が決定したもので、特別交付税で措置するという方針であり、詳細が分かり次第、検討していきたい。

一般質問

民主 党 小倉建一 議員

総務委員会
委員長 高屋敷 英則

**住民によるソフト
先行のまちづくり**

◆愛知県豊川市

◎まちなか再生事業について

豊川市の中心市街地活性化事業「稲荷楽市」には、従来の『まちなか再生事業』の手法とはまったく異なる取り組みがあった。行政はイベントに補助金を出さない。これは「補助金に頼ってでは商店街の成長がない」という、地元商店街の若者の考えによるもの。

この「稲荷楽市」は、「市民の手づくり」、「お金をかけない」、「道路を利用する」、「できることから始める」という4原則をもとに自由市の軒下戸板市とレトロな商店街の復活を掲げて、

大道芸やパフォーマンスをくり広げ、毎回2万人を超す来客で賑わっている。住民によるソフト先行のまちづくりの先進事例であり、貴重な研修になった。豊川市のまちづくりの根本は市民との協働、現場での市民との交流であるという実践哲学を、重い言葉として受け止めた。

**子育てするなら
南信州豊丘村へGO**

◆長野県豊丘村

◎定住人口増加総合促進事業について

「頑張る地方応援プログラム」を活用して、人口増加対策に取り組んでいる人口7000人の村の果敢な挑戦について研修した。このプログラムによる豊丘村の「定住人口増加プロジェクト」は、村独自の積極的なアプローチによって獲得した事業であり、そこに豊丘村の課題に取り組む並々ならぬ意欲が感じられた。財政力の弱い小さな村でありながら、総額5億7000万円予算であり、事業は主に若者定住促進住宅整備、住宅用地取得資金助成、子育て支援かなっているが、柱になるそれ



豊丘村で研修後の総務委員

ぞれの事業には細かな対応が盛り込まれており、きわめて広範囲な視点からのプロジェクトである。村長、議長、副議長が最後まで出席して、熱心に対応していただくという、破格のもてなしをいただいた豊丘村には心から感謝したい。

教育民生委員会

委員長 桑田 鉄男

**ピンピンコロリで
健康長寿のまち**

◆長野県佐久市

◎健康長寿のまちづくりにつ

いて

佐久市は、平成12年に、みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちを目指し、「健康長寿都市宣言」をした。

かつては脳卒中死亡率が全国一高く、これを克服することが大きな課題であったが、各種予防活動や予防医療のための保健事業の推進に力を注いだ結果、今では平均寿命が全国トップクラスの市となっている。加えて介護が必要な高齢者の少ない、元気で長生きをし、病まずに人生を全うする「ピン・ピン・コロリ」の発祥の地としても、全国から注目されている。特に主婦を中心とした715人の保健補導員による健康意識を高める活動が健康で長寿となった要因であると実感した。

**市民参加により
人的財産を活かす**

◆愛知県日進市

◎一般廃棄物処理基本計画について

日進市は、従来からボランティアによる「びん・缶」の資源回収等市民活動が盛んな地域で、ボランティア活動には行政

では気がつかないこと、実施しにくいことなど先駆的なことが多く、行政を動かす源にもなっていた。

市民参加による行政計画の策定には、市の方針とともに人的財産(市民が持っている知識を活かすことが重要であり、そのことが計画の実効性を高めることになっている)と説明があった。

中央環境センター(エコドーム)では、見学中も空き缶等の資源ごみを市民がひっきりなしに持ち寄り置いて行く姿を見て、市民にごみの分別が徹底されていると感じた。そのほかにも、リサイクルに重点をおいた取り組みなどは見習うべきことが数多くある研修であった。



日進市で研修中の教育民生委員

学ぶ

それぞれの所管事項
を報告します。

他市に

市議会の4常任委員会は、
に関する先進地の視察を行
その概要について、各委

産業経済委員会

委員長 堀崎 松男

ウニ二種苗センターで ナマコ種苗生産

◆北海道函館市

◎水産業発展の指針「水産振
興計画」について

函館市は、水産業が基幹産業
である。漁業の振興による加工
業、流通業の分野も含めた水産
業の発展を図る指針「函館市水
産振興計画」と戸井ウニ二種苗セ
ンターでウニ・ナマコ養殖につ
いて研修した。

近年、ナマコは中国向けナ
マコの輸出が増加し、価格が高
騰していることから注目されて
おり、市内漁協においても積極
的な漁業活動が行われている。
また、漁業者からは増産に向け

た技術開発に対する要望が多い
ことから、既設のウニ二種苗セン
ターを活用したナマコの資源維
持・増産に向けた試験研究を平
成18年度から実施している。
ナマコの養殖は、新たな水産
資源として期待でき、参考とな
る研修となった。

優遇制度で 企業誘致を推進

◆北海道江別市

◎企業誘致のための優遇制度
について

道央の中核都市として伸展し
ている江別市では、経済の発展
と雇用拡大を目指し、先端産業
の工場や試験研究機関等の誘致
により工業振興を促進する目的
の条例を制定していた。また、
産業の高度化等を支援する産業
支援サービス業及び労働集約型
産業であるコールセンター事業
の誘致に対する優遇制度により
企業誘致に努め、約389ヘク
タールの工業団地では、204
社が操業している。

市内には4大学、5高校があ
ることから人材確保が容易であ
るとともに、交通網も充実して
おり、企業誘致には最適の地で

ある。さらに、若手職員のプロ
ジェクトチームを立ち上げ「駅
前コールセンタービル」の建設
など新たな誘致方策を打ち出す
など、現企業のための政策と同
様に積極的に誘致を進めていく
姿勢は多いに参考になった。



種苗施設を視察する産業経済委員

建設委員会

委員長 中塚 佳男

人にやさしい 住環境の住宅を整備

◆栃木県矢板市

◎市営住宅の建て替えについ
て

矢板市では子育て世代や高齢

者等にも対応し、人にやさしい
住環境を整備するため市営住宅
の改築を行った。

改築後の住宅へ入居する方や
他の地域へ転居する方への移転
補償のほか、改築後は3倍以上
に膨らむ家賃等について、住宅
に入居する方に対し、入居に関
する説明会を実施し理解を求め
るなど、住民への配慮が随所に
現れていた。結果、ほとんどの
住民から理解を得ることができ
たとのことである。

少子高齢化に対応するため、
バリアフリーや多様な世帯を想
定した部屋を設定するなど居住
に配慮した建物となっており、
大変参考になった。

景観条例でまちの 元気を支えている

◆福島県会津若松市

◎緑とふれあう都市景観づく
りについて

会津若松市では、平成3年
に「会津若松らしい景観を守
り、つくり、そだてる」とい
う理念のもと、快適で潤いの
あるふるさとを創造するた
め、市と市民・事業者がそれ
ぞれの立場から積極的に都市

景観の形成に努める「会津若
松市景観条例」を制定した。

条例の自然緑地の指定につ
いては、市の景観審議会内の
選定部会が、選定基準により
登録緑地を選定し、順次、登
録物件の中から「自然景観指
定緑地」を指定するというも
のである。この指定を受ける
と、現状を変更する行為につ
いて届け出が必要となるが、
管理に要する経費の一部を市
が負担することとなる。

良質な景観をつくるため、
助成制度を設け、市民活動を
促進し、発展させる。こうした
制度が、「元気な会津若松」を支
えていると感じた。当市もゼ
ヒ参考にしたいものである。



会津若松市で研修後の建設委員

意見書

県北沿岸振興のため久慈地方振興局の更なる体制強化を求める意見書ほか5件

岩手県知事、内閣総理大臣等へ提出

9月定例会では、市民からの請願5件を含め、議員発議による次の意見書を可決し、岩手県知事、内閣総理大臣ほか政府関係機関等に提出しました。

■新たな過疎対策法の制定に関する意見書

〔概要〕 現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月末をもって失効するが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくことが重要であり、引き続き総合的な過疎対策の

充実強化が必要なことから新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

■県北沿岸振興のため「久慈地方振興局」の更なる体制強化を求める意見書

〔概要〕 真に質の高い行政サービスの提供や地域経済の強化、県南・県央との格差解消を実現するため、現在の久慈地方振興局体制を縮減せず、沿岸北部の特性を一層発展させるために、更なる体制の質的・量的強化を図るよう強く求める。

■義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合2分の1復元を求める意見書

〔概要〕 国は義務教育費国庫負担金を大幅削減し、地方に大きな負担を強いている。義務教育の原則である教育の機会均等が保たれないことが危惧されるため、義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合2分の1復元を求める。

■教育予算の拡充、教職員定数の改善を求める意見書

〔概要〕 きめ細やかな教育の実現のために、教職員定数改善計画の実施、30人以下学級の実現、地方交付税を含む国の予算の拡充を図ることを求める。

■原油高騰への緊急対策を求める意見書

〔概要〕 福祉灯油拡充などの原油高騰への緊急対策を行うことを求める。

■ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

〔概要〕 ミニマムアクセス米を毎年77万トンも輸入する一方、生産過剰による米価下落、生産調整の拡大、強化という矛盾が生じていることなどから、ミニマムアクセス米の輸入を停止するよう求める。

編集後記

議会広報編集特別委員会
委員 畑中勇吉

稲穂を飛び交うトンボに秋の深まりが漂います。

さて、9月定例会が8月29日開かれました。今議会の話題はなんと云っても岩手北部地震。7月24日未明発生し、市役所へ続々出勤した職員。被災の初動調査も順調に進み、山形町の水道復旧作業など昼夜を分たず市当局の取り組みに対し、労をねぎらう発言がありました。一方、『津波がなくてほんとに良かった。』との声が……。12日、最終本会議のあと、議会広報編集特別委員会を終え、市役所を後にするころ、夕べの街には、にぎやかな祭ばやし響いていました。18日、街の駅で開催された秋まつり前夜祭。各組の山車を製作した方々の祭りへの想いと気迫が感じられ、威勢のいい女性の音頭上げもあり、人輝く久慈市の一端を垣間見たよつな……。

市民の目線で議員活動、議会報編集に努めています。皆さんのさらなるご指導をお願い申し上げます。

市議会を傍聴して

四百刈 玲子さん

久慈市大川目町



私は今回が3度目の議会傍聴になります。中央公民館成人教育推進事業「大人の寺子屋」の講座として傍聴させていただきました。

女性議員がいない

知ってはおりましたが、女性議員がいない。寂しいことです。市当局の側にも1人もいない。町にも職場にも家庭にも女性はいるのに。「何とかしないと、したい」私があせっても仕様がないのですが、目の当たりにして胸を突かれる思いでした。女性の皆さん、がんばってみませんか。質問の中で、高屋敷英則さんの「地震で山形地区が断水になった時、復旧が遅かった

傍聴席からひとこと

との声もあつたが、私はそうは思わない。大変早く1日に2、3回も給水に来てくれて非常にありがたかった。旧山形村だったらここまで出来たかどうか分からない。感謝している。」という言葉に地域を愛しているんだなあと感動しました。

議員さんは私達の代弁者です。私達の毎日の生活の小さな事も見つけてください。応援します。考える機会をいただきありがとうございます。

